

2019年3月期  
第3四半期  
決算説明資料

2019年2月5日

(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# 2019年3月期 第3四半期 連結決算概要

2018/4 ~ 2018/12

(単位: 百万円)

	前 期	当 期	対前期増減		通期 業績予想 (5/10)	対通期予想 達成率	
売 上 高	479,802	448,529	31,273	6.5%	623,000	174,470	72.0%
営 業 利 益	20,222	21,679	1,456	7.2%	25,500	3,820	85.0%
経 常 利 益	26,800	27,562	762	2.8%	33,100	5,537	83.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,081	15,444	3,636	19.1%	25,000	9,555	61.8%

# セグメント別の売上高及び営業利益

2018/4 ~ 2018/12

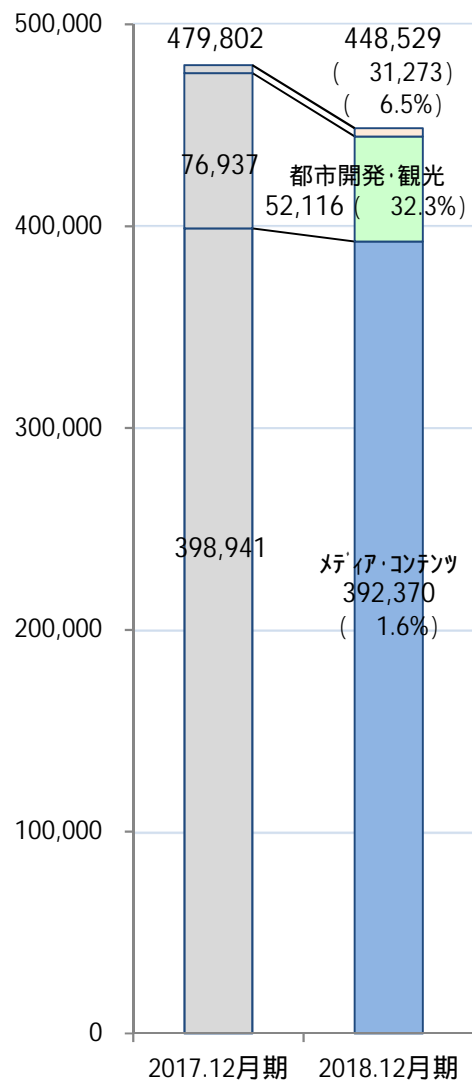
(単位:百万円)

	事業セグメント				合計	調整額	連結損益 計算上額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光 事業	そ の 他 業				
売上高	当期	392,370	52,116	14,200	458,687	10,158	448,529
	前期	398,941	76,937	14,596	490,475	10,672	479,802
	増減	6,570	24,821	395	31,787	513	31,273
	増減(%)	1.6%	32.3%	2.7%	6.5%	-	6.5%
営業利益	当期	17,209	4,383	417	22,010	330	21,679
	前期	8,945	11,707	488	21,141	918	20,222
	増減	8,263	7,324	70	868	587	1,456
	増減(%)	92.4%	62.6%	14.5%	4.1%	-	7.2%

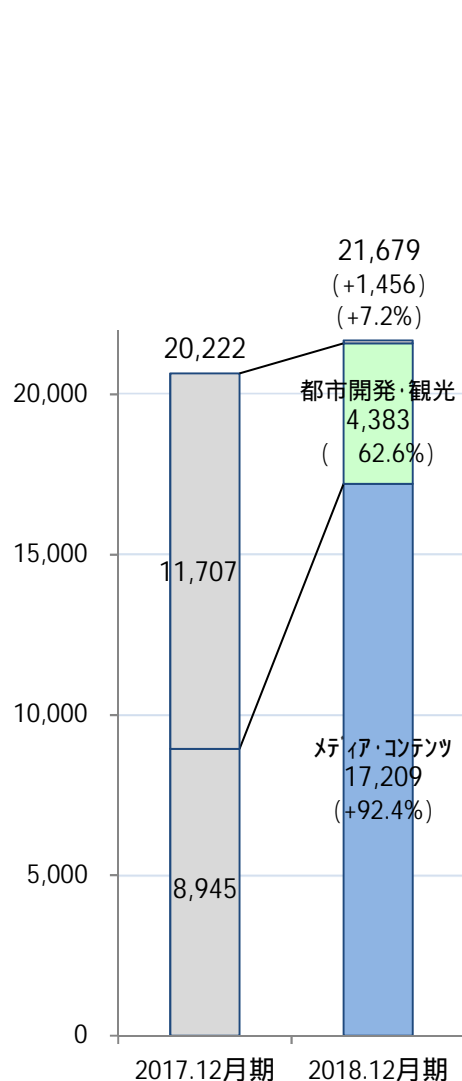
# 2019年3月期 第3四半期 連結決算概要(前期比較)

(単位:百万円)

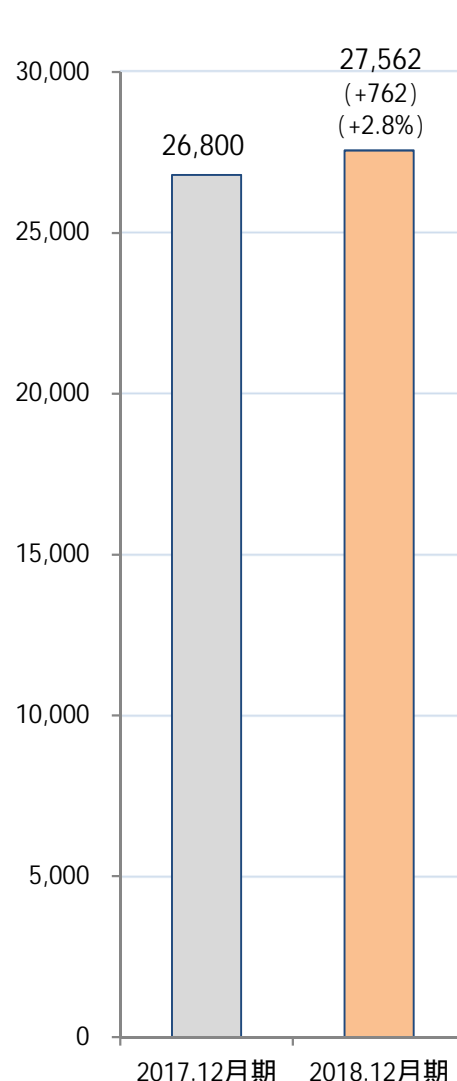
前期の「メディア・コンテンツ」には、前期末に連結子会社の範囲から外れたサンケイリビング新聞社、リビングプロシード、ポニーキャニオンエンタープライズの3社等が含まれています。



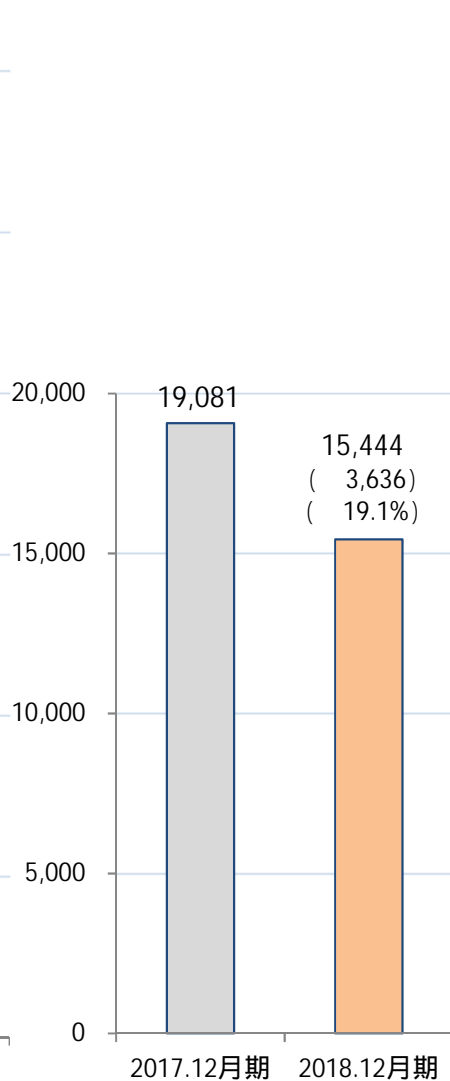
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益

# 第3四半期決算(4月-12月)業績のポイント

## 連結営業利益216億円 減収営業増益

### メディア・コンテンツ

#### フジテレビ

- 放送事業の増益に加え、映画「劇場版コード・ブルー」「万引き家族」の大ヒットや、シルク・ドゥ・ソレイユ「キュリオス」などの好調な催事が業績を牽引し、大幅増益

#### ポニーキャニオン

- ノンパッケージ分野のシェアが更に拡大 / イベント・チケット・グッズ販売、音楽・映像配信が好調
- 在庫にかかわる廃棄損や評価損が減少 赤字幅縮小

#### ディノス・セシール

- TV通販は好調に推移したが、カタログ通販の苦戦と配送費値上げの影響で減収減益
- セシール事業の計画未達により、減損計上

### 都市開発・観光

#### サンケイビル/グランビスタ

- サンケイビルは、新規賃貸物件の通期稼動などで堅調に推移したが、前期の大型物件売却などの反動で減収減益
- グランビスタは、一部ホテルの営業終了や、台風・地震の影響などにより減収減益  
札幌のホテルの宿泊は12月に入り回復

# <セグメント詳細>メディア・コンテンツ事業 会社別概要

2018/4～2018/12

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	193,824	200,951	7,127 (3.7%)	3,246	11,668	8,422 (259.4%)
ビーエスフジ	13,754	13,459	294 (2.1%)	1,974	1,712	262 (13.3%)
ニッポン放送	10,786	10,494	292 (2.7%)	34	25	8 (24.6%)
フジクリエイティブ コーポレーション	10,814	10,412	401 (3.7%)	649	648	0 (0.1%)
共同テレビジョン	10,636	12,158	1,521 (14.3%)	302	229	72 (24.1%)
ポニーキャニオン	24,955	24,360	594 (2.4%)	419	216	202 (-)
ディノス・セシール	87,507	82,719	4,788 (5.5%)	1,872	1,426	446 (23.8%)
クオラス	32,409	35,145	2,736 (8.4%)	404	561	157 (38.9%)
その他及び セグメント内修正等	14,253	2,668	-	880	1,153	-
合計	398,941	392,370	6,570 (1.6%)	8,945	17,209	8,263 (92.4%)

前期の「その他及びセグメント内修正等」には、前期末に連結子会社の範囲から外れたサンケイリビング新聞社、リビングプロシード、ポニーキャニオンエンタープライズの3社等が含まれています。

# <セグメント詳細> 都市開発・観光事業 会社別概要

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サ ン ケ イ ビ ル	45,476	22,991	22,484 ( 49.4%)	7,166	2,690	4,475 ( 62.5%)
グ ラ ン ビ ス タ ホ テ ル & リ ゾ ー ト	22,635	19,567	3,068 ( 13.6%)	2,521	1,465	1,055 ( 41.9%)
そ の 他 及 び セ グ メ ン ト 内 修 正 等	8,826	9,557	-	2,020	227	-
合 計	76,937	52,116	24,821 ( 32.3%)	11,707	4,383	7,324 ( 62.6%)



# 営業外収益・費用の主な内容

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	2,537	2,622	84	3.3%
持分法による 投資利益	3,208	2,437	771	24.0%
その他	2,185	2,179	6	0.3%
営業外収益合計	7,931	7,238	692	8.7%
営業外費用				
支払利息	918	875	43	4.7%
その他	435	479	44	10.3%
営業外費用合計	1,353	1,355	1	0.1%

# 特別利益・損失の主な内容

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
	投 資 有 価 証 券 売 却 益	986	819	167	17.0%
	そ の 他	334	195	138	41.5%
特 別 利 益 合 計		1,320	1,014	306	23.2%
特 別 損 失					
	減 損 損 失	51	3,640	3,589	-
	建 替 関 連 損 失	263	-	263	100%
	そ の 他	537	596	58	10.9%
特 別 損 失 合 計		852	4,236	3,384	396.9%

# フジテレビの業績

# 2019年3月期 第3四半期 フジテレビ決算概要

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減	
売上高	193,824	200,951	7,127	3.7%
営業利益	3,246	11,668	8,422	259.4%
経常利益	3,526	11,879	8,353	236.9%
四半期純利益	2,270	8,067	5,797	255.3%

# 放送事業 収入と原価

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	164,575	1,695	1.0%
放送収入	140,416	1,829	1.3%
ネットタイム	61,231	1,995	3.4%
ローカルタイム	10,095	121	1.2%
スポット	69,090	3,703	5.1%
その他 放送事業収入	24,158	134	0.6%
番組販売	12,505	668	5.1%
CS放送・その他	11,653	802	7.4%
放送事業原価	109,933	5,173	4.5%

# スポット収入 業種別動向

2018年10月～12月

管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	17.6%	14.7%	21.1%
情報・通信・放送	11.9%	13.9%	10.0%
食品	9.6%	8.9%	13.0%
医薬品・医療用品	8.3%	8.0%	9.0%
外食・各種サービス	4.5%	6.6%	38.3%
金融・保険	5.1%	6.5%	20.2%
自動車・関連品	6.6%	5.6%	20.7%
流通・小売業	3.7%	5.5%	38.3%
非アルコール飲料	7.3%	5.0%	35.8%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
事務・精密・光学機器	3.9%	4.8%	15.5%
出版・エンタテインメント	4.5%	4.3%	8.9%
衣料・身回品・雑貨	4.7%	3.5%	29.9%
家電・AV機器	2.9%	3.3%	7.5%
交通・レジャー・観光	2.5%	3.0%	15.3%
電話サービス	2.0%	2.4%	15.6%
不動産・住宅設備	1.7%	1.7%	4.8%
アルコール飲料	1.0%	0.9%	19.4%
エネルギー・機械	0.7%	0.3%	61.4%
その他	1.4%	1.0%	36.3%

# 番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	20,495	19,283	5.9%
第2四半期	20,305	19,259	5.2%
上期	40,801	38,543	5.5%
第3四半期	19,960	18,572	7.0%
累計	60,761	57,115	6.0%
第4四半期	19,922		
下期	39,882		
通期	80,684		

自社制作番組及び購入番組の直接費

# その他事業 収入と原価

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	36,376	8,822	32.0%
催物事業収入	13,107	6,052	85.8%
映画事業収入	7,813	1,722	28.3%
デジタル事業収入	6,473	125	1.9%
MD事業収入	4,981	1,909	62.1%
ビデオ事業収入	1,089	394	26.6%
その他の収入	2,910	340	10.5%
その他事業原価	27,800	5,895	26.9%



# 販管費及び営業外損益概要

2018/4 ~ 2018/12

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び一般管理費	51,548	2,015	3.8%
販売費	36,816	932	2.5%
一般管理費	14,732	1,083	6.9%
営業費用合計	189,282	1,294	0.7%
営業利益	11,668	8,422	259.4%
営業外収益	428	31	6.8%
営業外費用	217	38	21.2%
経常利益	11,879	8,353	236.9%

2019年3月期  
業績予想  
(修正あり)

# 業績予想修正のポイント

## 通期の連結営業利益予想を325億円に上方修正

メディア・コンテンツ事業、都市開発・観光事業を上方修正

### メディア・コンテンツ

#### フジテレビ

- 堅調なネットタイムを受け、放送収入の通期見込みを上方修正
- 好調な映画事業等が第4四半期も業績向上に貢献
- 一般管理費は引き続き削減

#### ポニーキャニオン

- 大ヒット映画『劇場版コード・ブルー』のBlu-ray・DVD発売等、パッケージの売上に期待
- 通期黒字化・増益を目指す

### 都市開発・観光

#### サンケイビル/グランビスタ

- サンケイビルは、計画を上回る資産の売却益を予定 増益を目指す
- グランビスタは、広島・金沢に新しい「インターゲートホテルズ」を展開 収益基盤の拡充を計画

# 2019年3月期通期 連結業績予想(修正あり)

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	通期予想	前回予想	増減額
売上高	654,000	623,000	31,000
営業利益	32,500	25,500	7,000
経常利益	39,100	33,100	6,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,000	25,000	-

## 地上波テレビ広告収入の通期見込み

(前期比)

	通期予想	前回予想
ネットタイム	1.0%	1.7%
ローカルタイム	1.6%	6.4%
スポット	4.9%	4.1%
放送収入合計	2.2%	3.2%

# 2019年3月期通期 セグメント別業績予想(修正あり)

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	事業セグメント				合計	調整額	連結損益 計算上額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光 事業	そ の 他 業 務				
売上高	通期予想	520,000	126,700	19,100	665,800	11,800	654,000
	前回予想	514,000	101,600	19,500	635,100	12,100	623,000
	増減額	6,000	25,100	400	30,700	300	31,000
営業利益	通期予想	18,300	14,500	400	33,200	700	32,500
	前回予想	14,100	11,500	400	26,000	500	25,500
	増減額	4,200	3,000	-	7,200	200	7,000

# 設備投資計画と減価償却費

(単位:百万円)

		2019年3月期		2020年3月期 通期 (計画)
		4月～12月 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連結	60,839	72,400	40,900
	フジテレビ	5,483	7,500	7,500
	都市開発・観光事業	36,821	46,600	25,300
	フジ・メディアHD	14,329	14,900	800
減価償却費	連結	13,283	18,900	21,300
	フジテレビ	5,340	8,000	8,700
	都市開発・観光事業	3,874	5,500	6,200
	フジ・メディアHD	1,401	2,000	2,000

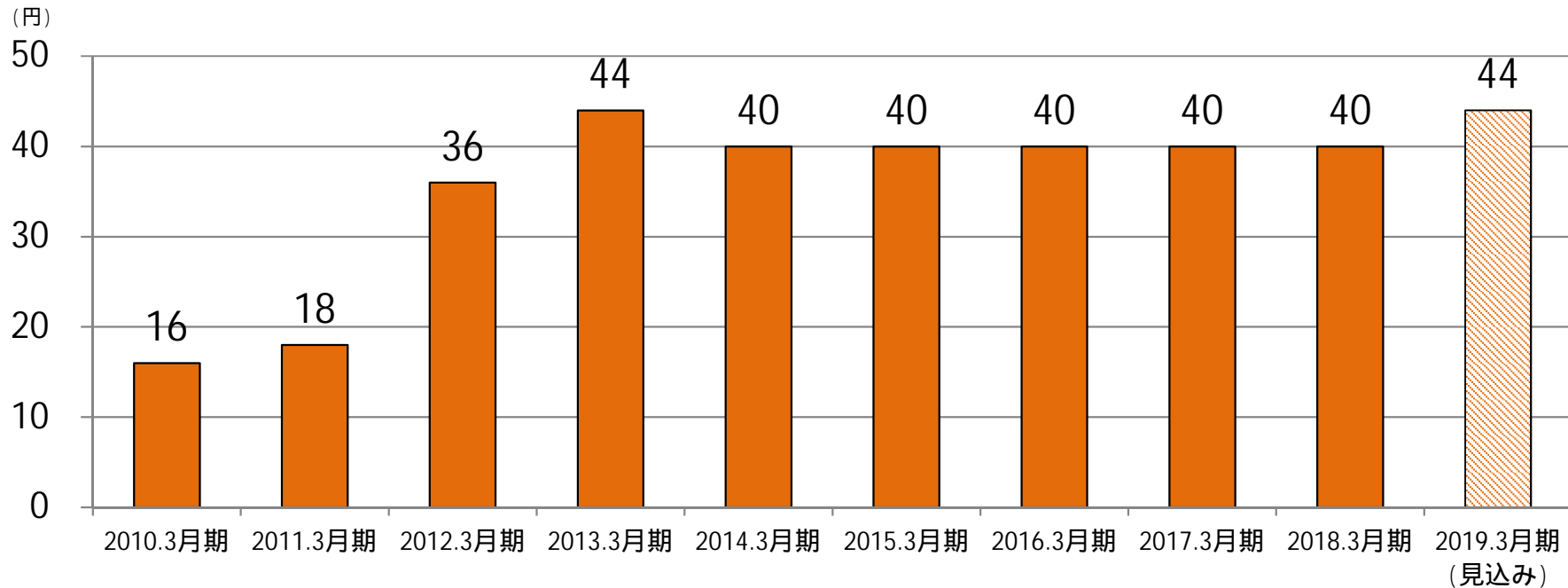
本社ビル土地(底地)の購入が含まれております。

# 株主への利益還元

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2019年3月期 年間配当44円 (変更なし)

2019年3月期の中間配当及び期末配当には、普通配当20円以外に  
認定放送持株会社移行10周年及び(株)フジテレビジョン開局60周年記念配当2円が含まれております。



単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で  
株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

## セグメント情報(連結子会社)

セグメント	会社名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、ディノス・セシール、クオラス、扶桑社、 フジゲームス、NEXT EP、フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、 共同エディット、バスク、バンエイト、ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 エグジットチューンズ、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、 ディノス・セシールコミュニケーションズ、FUJI MUSIC GROUP、ARC MUSIC、 ARC/CONRAD MUSIC	26社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタホテル&リゾート、サンケイビルマネジメント、 サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、サンケイ会館、甲子園開発、 SKB USA、SKB Seattle	9社
その他	フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL	4社
合計		39社